

乳牛の飼料用イタリアンライグラスの播種

イタリアンライグラスは、強健で耐湿性が高い単年生の牧草で、冬作粗飼料（秋に播種、春に収穫）として広く栽培されており、当センターでは、10月から約 800 アールのほ場（12 か所）に播種しています。

作付けは生育速度の異なる複数の品種を組み合わせることによって刈取り時期を平準化することができます。また、品種によって耐病性、耐倒伏性などの特性の違いがあるため、新品種も採用しながらほ場別に作付計画を策定し、収量アップを目指しています。

今年は、10月の長雨の影響で、播種が若干遅れましたが、順調に生育すれば来年5月に刈り取りを行い、ラップサイレージ※（約 300 個）として貯蔵し、飼養している 50 頭の乳牛に給与します。

※ラップサイレージ：刈り取った牧草をラップに巻いて密封することにより乳酸発酵させた嗜好性と栄養価が高い貯蔵飼料



播種前に圃場を耕起



種子を圃場に散布（播種）